

旅行取扱状況の概観（平成29年5月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比85.3%と前年を下回ったが、一般団体は同115.1%と前年を上回り、団体旅行合計で同110.3%と前年を上回った。企画旅行については前年比135.3%と前年を上回り、個人旅行については同115.0%と前年を上回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比125.3%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、学生団体は前年比104.2%、一般団体は同114.5%、と前年を上回り、団体旅行合計で同107.3%と前年を上回った。企画旅行については前年比106.9%と前年を上回り、個人旅行については同103.9%と前年を上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比106.6%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比121.5%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の5月の総取扱額は前年比112.1%となり、前年を上回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、学生団体は研修旅行などの取扱人数の減少により、前年比85.3%と前年を下回ったが、一般団体は大型のコンベンションや視察旅行などの実施により、同116.9%と前年を上回った。

この結果、海外団体旅行合計で前年比111.7%と前年を上回った。

国内団体については、一般団体はイベント団体参拝などの取扱人数の増加により、前年比114.8%と前年を上回った。学生団体は修学旅行や宿泊研修などの取扱人数の増加により、同104.2%と前年を上回った。

この結果、国内団体旅行合計で前年比107.3%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比116.0%と前年を上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトについては、方面別取扱人数の状況では、昨年の北海道新幹線の開業効果の影響もあり北海道や東北方面などが前年には及ばなかったが、中国四国、九州、沖縄、伊勢志摩方面やなどが前年を上回り、取扱額で前年比100.5%と前年を上回った。

ホリデイについては、方面別取扱人数の状況では、ヨーロッパやハワイ、ミクロネシア方面などを中心にほぼ全方面前年を上回り、取扱額で同117.2%と前年を上回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、大型客船クルーズ旅行や、ヨーロッパ方面を中心に好調に推移した。バス旅行を除く国内旅行部門は、東北、東海・伊勢志摩、四国、沖縄・離島方面などが好調に推移した。バス旅行部門は、首都圏発の関東、中部方面などが好調に推移した。テーマ旅行部門は、海外では中南米方面や、ビジネスクラス利用のモロッコ、国内ではあるくシリーズなどを中心に好調に推移した。

この結果、総取扱額は前年比120.7%となり、前年を上回った。

以上